

○16日の行進・津→亀山 田中と亀山・小川さんの報告

午後、県庁を出発した行進団はほぼ定刻通りに亀山市役所へ。向かいの西小学校の若い教職員たちが拍手で出迎え。市役所も歓迎式を催してくれた。津市の8人も含め、26人が参加。(以下・小川さん)

引継地点の天神町からの行進は18人。コープみえ、三教組からも各1人。参加人数が昨年より少なく、沿道チラシを配ったりステッカーをはずしたりしながら歩くので、行進団の列が離れてしまい、どちらを優先すべきか迷いました。チラシを配っているのに気づいて、待っていて受け取ってくれる人も多くいたので関心が高いことを感じました。行動を継続することで市民の意識も高まっていると思うので、もっと元気に、もっと大勢の人で行動したいです。

亀山市からの協賛金は3,500円、沿道募金も3,500円。沿道チラシは100枚配布。

○同・亀山→伊賀 伊賀・森永さんと田中の報告

伊賀支所で亀山からの行進者10人を迎えて21人で出発。今年はオーディオの調子も良い。お天気は晴れ、少し曇りと風があり、歩きやすかった。沿道チラシは全戸に入れられた。阿山支所では活動家のお母さんが迎えてくれ、手を振ってくれた。伊賀まち支所では支所長と職員3名が見送ってくれた。阿山支所では支所長と職員が対応してくれ、お茶接待と休憩所が設けてありました。

伊賀上野市内の鍵屋の辻から市役所まで12人で行進。鍵屋の辻には「教馬茶屋」という古いお店があります。1年前に経営者が変わっていたので、行進者の何人かがわらび餅とコーヒーを注文して店主に平和行進の話をし、来年からよろしくと伝えておきました。

岡本栄市長から「ヒバクシャ国際署名」の署名を頂きました。「行進記録集」には釜井さんに書いてもらいます。

(以下・田中) 鍵屋の辻からの商店街は昔の面影がよく残り、また若い人のお店も混じっていました。いちどゆっくり訪ねてみたい。「行進ステッカー」も何枚か貼ってありました。伊賀は原則的にがんばっていますが、高齢化などのため行進者が少なく、亀山からの応援が欠かせないようでした。亀山からは7人が最後の伊賀市役所までチラシ配布などで付き合い、終わってからは通し行進者と私を乗せて亀山市内まで送ってくれました。亀山実行委員会に感謝です。

○鈴鹿の川北さんより連絡あり。鈴鹿の市民の方から4筆の国際署名が返ってきたとのこと。これで29筆が返ってきています。昨日の伊賀でチラシがなくなったため、急ぎよ増し刷りしていまから名張に持っています。

○「共謀罪」法案の暴力的採決という激動の情勢下でおこなわれた三重県の実行ですが、きょうの名張市役所の集会を最後に奈良県山添村に引き継ぎます。最後まで気を緩めることなく奈良に行ってきます。

○今年も「行進記録集」を発行しますので、全コースともどなたか原稿を書く人を見つけて頼んでください。お願いします。字数は800字まで。

○次は「ヒバクシャ国際署名をすすめる三重県民の会」の設立と原水禁世界大会の取り組みです。大会の参加要項は来週明けにファクスか郵送します。